35mm Compact Camera

Zoom Date 115 SR

使用説明書

ご使用前に必ずお読みください。

202B10208271 J

カメラの特長

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。この説明書の内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。

■35mm コンパクトカメラ

- 38mm～115mmの高倍率3倍ズーム
- 安心のプレワインディング
- 低輝度自動発光ズームフラッシュ
- 見やすい大型液晶パネル
- 赤目軽減フラッシュ
- セルフタイマー／リモコン機能付き

CE	このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関するEU（欧州連合）の要求事項を、製品が満足していることを証明するものです。（CEとはヨーロッパ認定（Conformité Européenne）の略）

同梱品

この製品には、カメラ本体以外に以下の付属品が同梱されています。箱を開けたときにご確認ください。

□ リチウム電池　CR123A 1本
□ ソフトケース　□ ストラップ
□ リモートコントローラー
□ 使用説明書　□ 保証書

目　次

■この使用説明書の表記について

☞：参考になる情報などの記載

＊：注意などの記載

安全にご使用いただくために

- この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
- 製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- この説明書はお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠警告

- 絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。
- 落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。高圧回路があり感電する恐れがあります。
- カメラ（電池）が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、ただちに電池を取り出してください。発火ややけどの恐れがあります（電池を取り出す際、やけどには十分ご注意ください）。
- フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。一時的に視力に影響することがあります。特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。
- カメラを水中に落としたり、内部に水または金属や異物などが入ったときは、ただちに電池を取り出してください。発熱・発火の恐れがあります。

警告

- 引火性の高いガスが充満している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近くでカメラを使用しないでください。爆発や発火・やけどの恐れがあります。
- カメラは乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息する恐れがあります。
- 電池の分解、加熱、火中への投入、充電、ショートは絶対にしないでください。破裂の恐れがあります。
- 指定以外の電池を使わないでください。発熱・発火の恐れがあります。
- 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤って飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。

注意

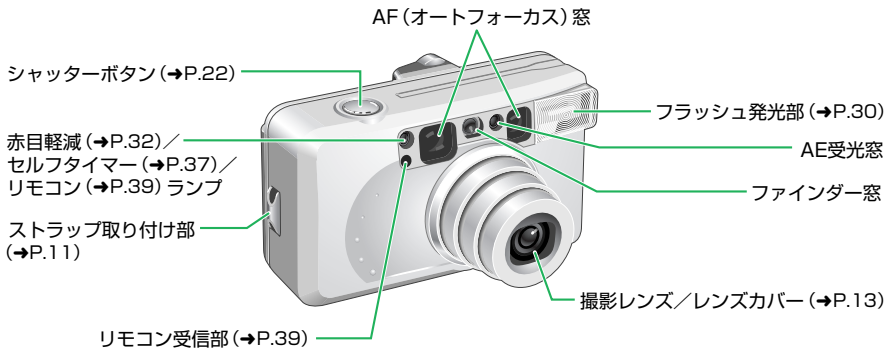
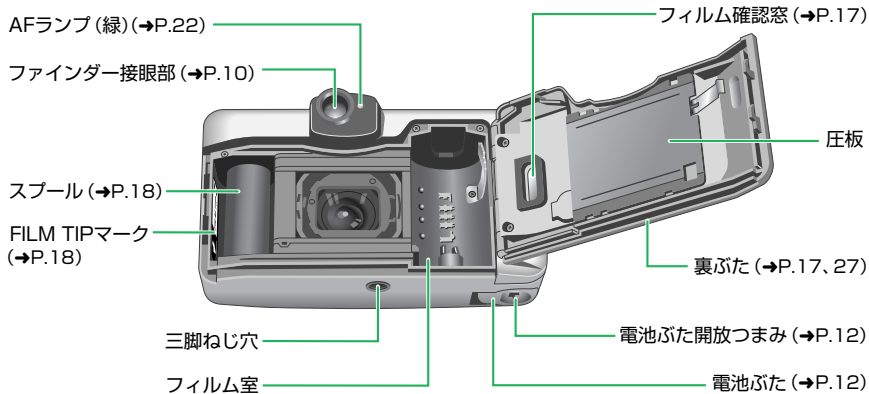
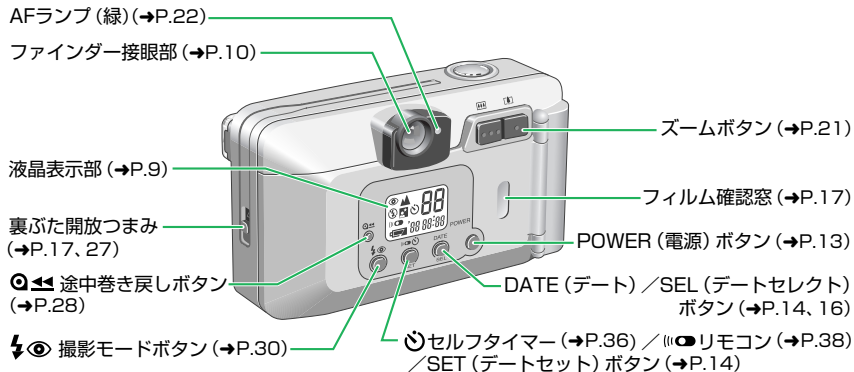
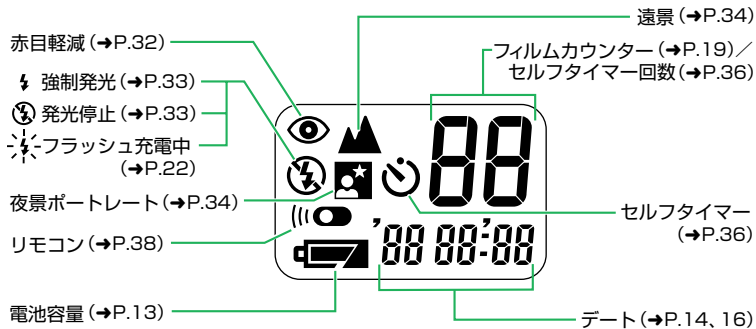
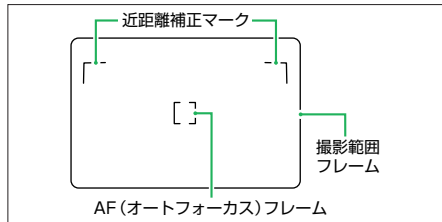
- カメラをぬらしたり、ぬれた手で触ったりしないでください。感電の原因となることがあります。
- 自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。
- 電池の⊕⊖を誤って装てんしないようにご注意ください。電池の破裂、液もれにより、発火、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

各部の名称

＊（　）内のページに詳しい説明があります。

AFランプ(緑)(➜P.22)
ファインダー接眼部(➜P.10)
スプール(➜P.18)
FILM TIPマーク
(➜P.18)
三脚ねじ穴
フィルム室
フィルム確認窓(➜P.17)
圧板
裏ぶた(➜P.17、27)
電池ぶた開放つまみ(➜P.12)
電池ぶた(➜P.12)

各部の名称

AFランプ（緑）（➜P.22）
ファインダー接眼部（➜P.10）
液晶表示部（➜P.9）
裏ぶた開放つまみ（➜P.17、27）
途中巻き戻しボタン（➜P.28）
撮影モードボタン（➜P.30）
ズームボタン（➜P.21）
フィルム確認窓（➜P.17）
POWER（電源）ボタン（➜P.13）
DATE（デート）／SEL（デートセレクト）ボタン（➜P.14、16）
セルフタイマー（➜P.36）／リモコン（➜P.38）／SET（デートセット）ボタン（➜P.14）
POWER
DATE
SEL

〈液晶表示部〉（すべての表示が現れている状態）

〈ファインダー〉

撮影範囲フレーム

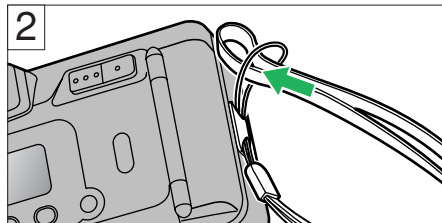
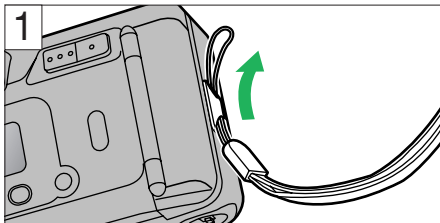
このフレーム内で構図を決めます。

AF（オートフォーカス）フレーム

写したいもの（被写体）にこのフレームを合わせます。

近距離補正マーク

近距離撮影するときは、このマークを目安に構図を決めます（➜23ページ）。

ストラップを取り付けます

ストラップ取り付け部にストラップを通し、取り付けます。

市販のストラップをご使用になる場合は、ストラップの強度をご確認の上、ご使用ください。携帯電話、PHS用ストラップは軽量機器用ですので、ご使用の際は特にご注意ください。

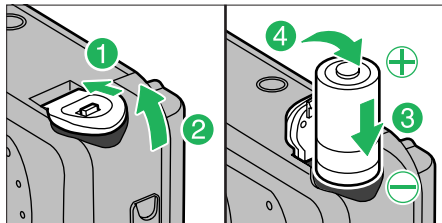
電池を入れます

■使用する電池
★リチウム電池
　フジフイルム リチウム CR123A　1本

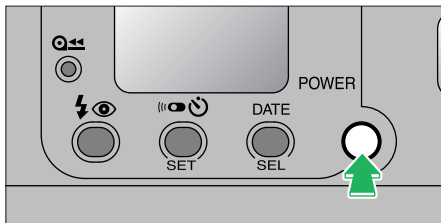
撮影前には必ず電池容量をチェックしてください(➜13ページ)。

＊電池を交換した場合には必ずデートを合わせてください(➜14ページ)。

＊リチウム電池は約350コマ撮影できます(当社試験条件による)。

＊旅行やたくさん写真を撮られるときは、万一の場合に備えて予備の電池をご用意ください。特に海外では地域によっては電池の入手が困難な場合があります。

❶電池ぶた開放つまみを動かします。
❷電池ぶたを開けます。
❸表示に従って電池を入れます。
❹電池ぶたを閉めます。

＊電池ぶたに無理な力を加えないでください。

電源のON／OFF

POWERボタンを押して電源を入れます。もう一度押すと電源が切れます。

☞電源を入れるとレンズカバーが開き、液晶が表示されます。

＊電源を入れたまま約7分間放置すると、電源は自動的に切れます。

電源を入れるときに、レンズ部を指で押さえないでください。

電池容量のチェック

電源を入れ、液晶表示部で電池容量をチェックします。

❶電池の容量はOKです。

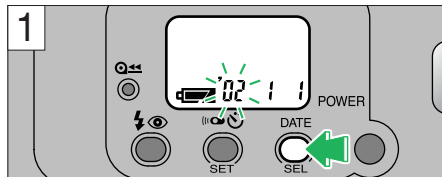
❷電池の容量が不足しています。新しい電池を準備してください。

❸電池容量がなくなったため、シャッターは切れません。新しい電池に交換してください。

＊撮影前には必ず電池容量をチェックしてください。

＊電池の交換は撮影途中のフィルムが入っていても可能です。

デートの合わせ方

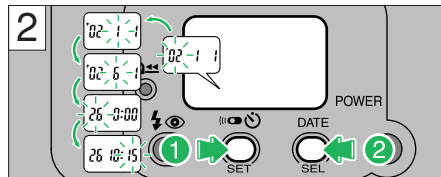
電池を入れたとき、あるいは電池を交換したとき　デートを合わせるには

電源を入れて、DATE/SELボタンを押します。

☞"年" が点滅し、デート修正モードになります。

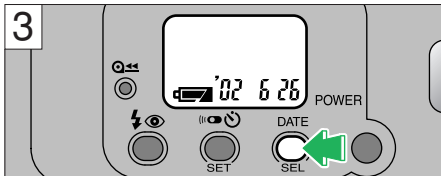
■設定範囲

年：'02～'32(2002年～2032年)

月：1～12　　　日：1～31

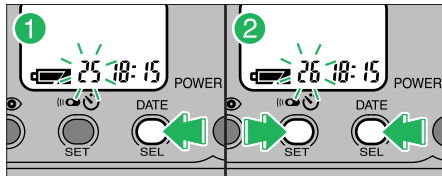
時：0～23　　　分：00～59

❶SETボタンを押して、点滅している数字を修正します。

❷DATE/SELボタンを押すと、次の設定項目に移ります。

☞"年"→"月"→"日"→"時"→"分" の順に項目が移ります。

“分” を合わせたら、DATE/SELボタンを押してデート合わせを終了します。

☞時報に合わせたいときは、時報のゼロ秒時にDATE/SELボタンを押します。

＊“年月日” は “時分” に連動して変わります。

デートを合わせた後　デートを変更するには

❶電源を入れて、DATE/SELボタンを2秒以上押し続けます。

☞“日” が点滅し、デート修正モードになります。

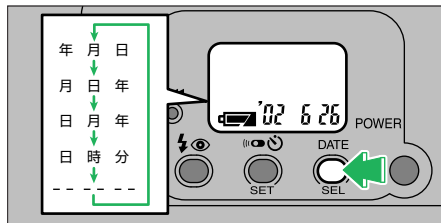
❷左の2と同様に、SETボタンで数字を修正、DATE/SELボタンで項目を移動します。

☞“日”→“時”→“分”→“年”→“月” の順に項目が移ります。

“月”を合わせたら、DATE/SELボタンを押します。

デートモードの選択

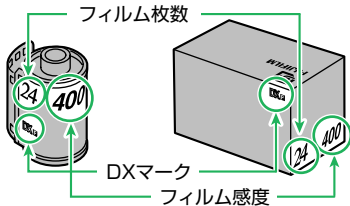
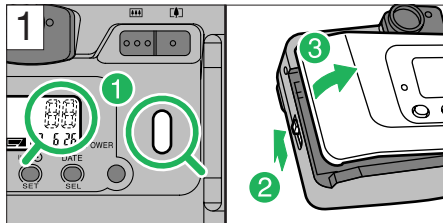
デートは写真の右下に写し込まれます。

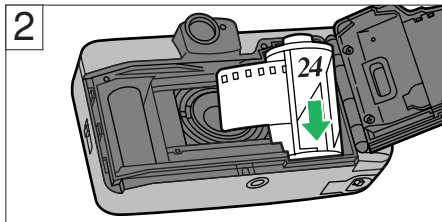
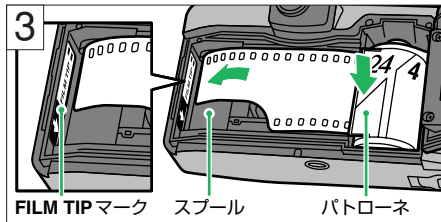
＊写し込まれたデート表示が背景によっては見えにくくなる場合があります。

電源を入れてDATE/SELボタンを押すと、デートモードを選択できます。

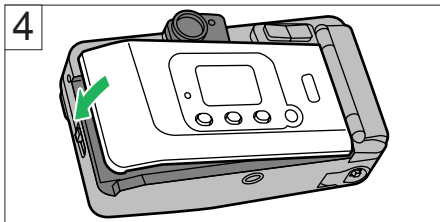
☞デートモードは図のように切り替わります。

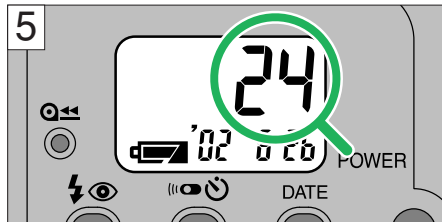
＊"- - - - - -"を選択すると、写真にデートは入りません。

フィルムを入れます

外箱とパトローネ（フィルムの容器）にDXマークがある35mmフィルムを使用します。

- DXマークのないフィルムはISO100の感度にセットされます。
- フィルムの装てん・取り出しは、直射日光を避けて行ってください。

❶フィルムが装てんされていないこと、フィルムカウンターが表示されていないことを確認します。
❷裏ぶた開放つまみを動かします。
❸裏ぶたを開けます。

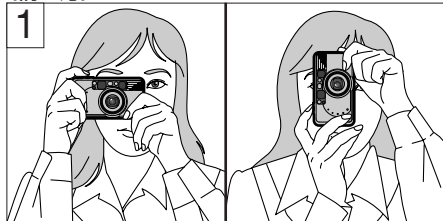
＊撮影途中のフィルムが入っているときは絶対に裏ぶたを開けないでください。フィルムを取り出す場合は28ページをご参照ください。
＊裏ぶたに無理な力を加えないでください。

フィルムを入れます。

パトローネを押さえながら、フィルムの先端を**FILM TIP** マークまで引き出し、スプールの上にのせます。

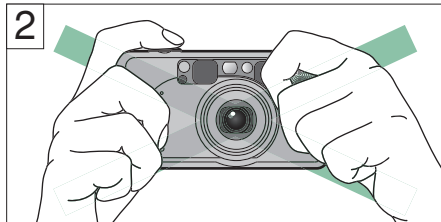
＊フィルムが浮き上がらないように、パトローネの角度を調節してください。
＊フィルムの先端がスプールの上にのっていることを確認してください。
＊フィルムを長く引き出しすぎたときは、フィルムを一度取り出して長さを調節してください。

裏ぶたを閉めます。
☞フィルムが自動的に送られます。

＊フィルム確認窓を通して、装てんしたフィルムの種類、フィルム枚数、フィルム感度が確認できます。

フィルムカウンター（フィルムの撮影可能枚数）が表示されていることを確認します。

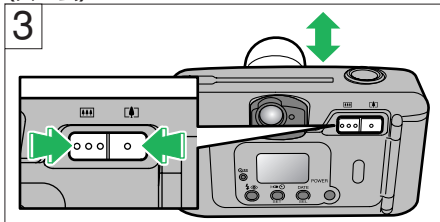
フィルムが正しく装てんされていないと、フィルムカウンターが表示されません。撮影可能なフィルムを正しく装てんし直してください。

さあいよいよ撮影です

〈構え方〉

電源を入れ両脇を締め、カメラを両手でしっかり構えます。

☞縦位置撮影ではフラッシュ発光部が上にくるように構えます。

レンズやフラッシュ発光部、AF・AE窓に指やストラップが掛からないようにしてください。

大切な撮影（結婚式や海外旅行、業務用途など）の前には試し撮りをして、カメラが正常に機能することを確認してください。

〈ズーム〉

被写体を大きく写したいときは、ズームボタンの[♠]マーク側を押して望遠側にズームします。広い範囲を写したいときは、[♠♠♠]マーク側を押して広角側にズームします。

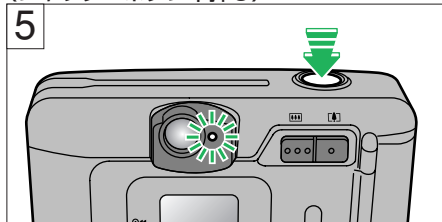
＊撮影できる範囲は、0.9m〜∞です。

〈構図の決め方〉

AFフレーム全体を被写体が満たすようにねらいます。

基本編

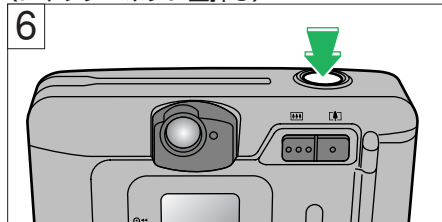
〈シャッターボタン半押し〉

5

シャッターボタンを半押しします。

☞AFランプ(緑)が点灯すれば、ピント合わせは完了です。

＊被写体に約90cmより近づくと、AFランプが点滅し、ピントが合わないことを警告します。さらに約60cmより近づくと、AFランプが点灯することがありますが、ピントは合いません。

〈シャッターボタン全押し〉

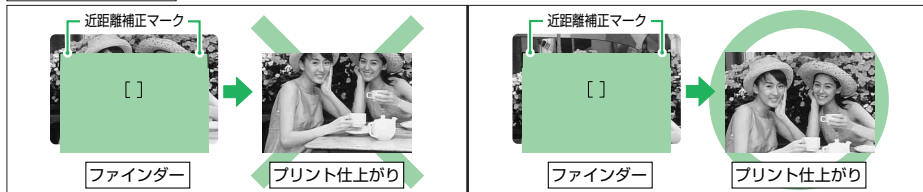
6

シャッターを切ります。

☞フィルムが次のコマまで送られます。

☞フィルムカウンターの数字は撮影のたびに1コマずつ減っていきます。

＊AFランプ、赤目軽減／セルフタイマーランプは、いったん消えてからシャッターが切れた直後にもう1回点灯します。

＊フラッシュ充電中(液晶表示部の"⚡"点滅中)はシャッターは切れません。

近距離撮影の場合

撮影距離が約1.5mより近い場合は、上図の　の範囲が写ります。被写体が　の範囲内に収まるように構図を決めます。

近距離撮影では、ファインダー窓から見える範囲と写る範囲にズレが生じます（ファインダー窓と撮影レンズの位置が違うため）。近距離補正マークは、ファインダー窓から見える範囲と実際に写る範囲の目安になります。

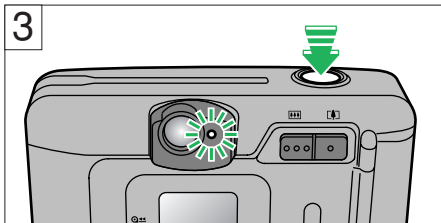
◆AFの苦手な被写体について◆

次のような場合、まれにピントが合わないことがあります。このようなときは、AFロック撮影(➜25ページ)、遠景モード撮影(➜34ページ)を行ってください。

- 被写体の近くに太陽などの明るい光源や反射光(車のフロントガラス、波の反射など)がある場合
- 画面の中央部付近に鏡、金属面などの反射面がある場合
- 髪の毛など黒くて光を反射しにくい被写体の場合
- 炎や煙などのように実体のないものの場合
- ガラス越しの撮影の場合

AF（オートフォーカス）ロック撮影

このような構図ではAFフレームが被写体（この場合は人物）から外れています。このままでは被写体にピントが合いません。

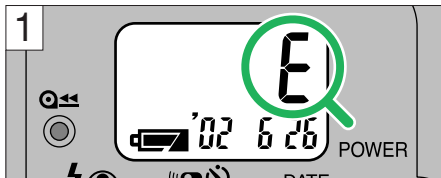
AFフレームに被写体が入るようにカメラを動かします。

そのままシャッターボタンを半押し（AFロック）します。

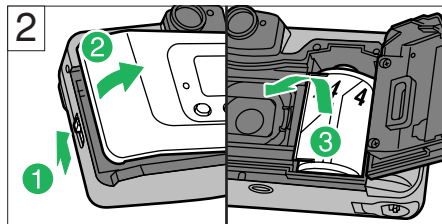
☞AFランプ（緑）の点灯を確認します。

シャッターボタンを半押し（AFロック）したまま最初の構図に戻して、シャッターを切ります。

＊AFロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

フィルムを取り出します／撮影途中でフィルムを取り出します

フィルムを取り出すには

最後の1コマを撮り終わると、フィルムが自動的に巻き戻されます。

☞巻き戻しが完了すると、“E”が表示されます。

❶裏ぶた開放つまみを動かします。
❷裏ぶたを開けます。
❸フィルムを取り出します。

＊裏ぶたに無理な力を加えないでください。

必ずモーターが止まり“E”が表示されたことを確認してください。“E”が表示される前に裏ぶたを開けようとすると、フィルムが感光する恐れがありますのでご注意ください（➜29ページ）。

撮影途中でフィルムを取り出すには

ボールペンの先などで⊙◂◂ボタンを押します。

☞巻き戻しが完了すると、“E” が表示されます。

＊⊙◂◂ボタンは、先端のとがったもので押さないでください。

> 巻き戻したフィルムは再撮影できません。撮影途中でフィルムを現像に出したいとき以外は、⊙◂◂ボタンを押さないでください。

モーターが止まり “E” が表示されたことを確認してからフィルムを取り出してください。

◆カメラにフィルムが入っているときのご注意◆

●フィルムが入っているときには、絶対に裏ぶたを開けないでください。

☞フィルムが入っているときに裏ぶたを開けてしまったら、そのまま裏ぶたを閉めてください。

＊裏ぶたを閉めると、自動的にフィルムが巻き戻され、“E”が表示されます。
＊巻き戻されたフィルムは再撮影できません。

ただし、本機はプレワインディング方式を採用しているため、最後に撮影した1コマ以外は光カブリから守られています。

撮影モードの選択

このカメラには、以下の6種類の撮影モードが用意されています。被写体に応じた撮影を楽しむことができます。

(表示なし) 低輝度自動発光モード
( ) 赤目軽減モード
( ) 強制発光モード
( ) 発光停止モード
( ) 遠景モード
( ) 夜景ポートレート(スローシンクロ)モード

ボタンを押すと、撮影モードを選択できます。
表示なし→→→→→の順に切り替わります。

- 低輝度自動発光モード、赤目軽減モードは、電源が切れても保持されます。
- 強制発光モード、発光停止モードは、電源が切れると自動的に解除されます。
- 遠景モード、夜景ポートレートモードは、撮影後または電源が切れると自動的に解除されます。

フラッシュ撮影範囲

フィルム感度によってフラッシュ光の届く範囲が異なります。暗いところではフラッシュ撮影範囲に注意して撮影してください。

■フラッシュ撮影範囲

フィルム感度	広角（38mm）	望遠（115mm）
ISO 100	0.9 ～　3.0	0.9 ～ 2.1
ISO 400	0.9 ～　6.0	0.9 ～ 4.2
ISO 800	0.9 ～　8.5	0.9 ～ 5.9
ISO 1600	0.9 ～ 12.0	0.9 ～ 8.4

（カラーネガフィルム使用時　単位：m）

表示なし 低輝度自動発光モード

通常の撮影に使用します。

暗いところでは、自動的にフラッシュが発光します。

赤目軽減モード

赤目現象を軽減します。

約1秒間赤目軽減ランプが点灯した後、フラッシュが発光します。

赤目軽減ランプが点灯している間、AFランプは点灯し続けます。AFランプが点灯してからフラッシュが発光するまでカメラを動かさないでください。

◆赤目現象について◆

人物を暗いところでフラッシュ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、フラッシュの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするためには、赤目軽減モードを使用すると共に、

- 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
- なるべく近づいて撮影する

などするとより効果的です。

強制発光モード

窓際や木陰などの逆光撮影に使用します。

明るいところでもフラッシュが発光します。

発光停止モード

室内照明を利用しての撮影、舞台や室内競技などのフラッシュ光が届かない距離での撮影などに使用します。

フラッシュの発光を停止します。

＊暗いところで撮影するときは、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

遠景モード

風景をきれいに撮りたいときや、ガラス越しの遠景や遠い夜景の撮影などに使用します。

ピントが遠方にセットされます。フラッシュは発光しません。

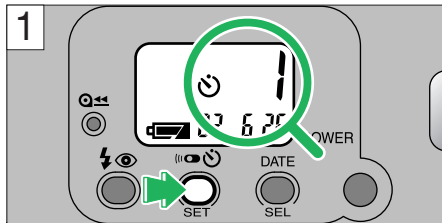
＊1回の撮影ごとに自動的に解除されます。
＊暗いところで撮影するときは、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

夜景ポートレート（スローシンクロ）モード

夜景をバックにした人物を撮影するときに使用します。

スローシャッターの赤目軽減モード（赤目軽減ランプが約1秒間点灯後、フラッシュ発光）になり、夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。

＊1回の撮影ごとに自動的に解除されます。

夜景ポートレートモードでは、スローシャッターになりますので、手ブレ防止のため必ず三脚を使用してください。また、撮影中は撮られる人も動かないでください。

セルフタイマー撮影

((●⏱ボタンを押します。

☞セルフタイマー撮影では、連続撮影回数（3コマまで）を選択できます。

☞"⏱1"→"⏱2"→"⏱3"→"((●"の順に切り替わります。

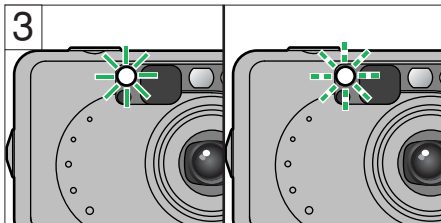
＊"((●"はリモコンモードです（➜38ページ）。

＊セルフタイマーモードでは、撮影モードも選択可能です。

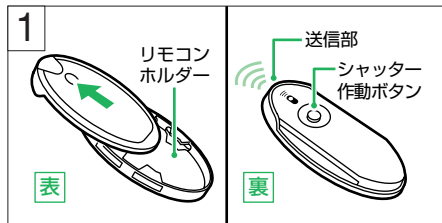
構図を決めて、シャッターボタンを押します。

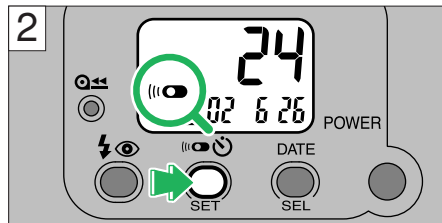
☞AFフレーム内に見えるものにピントが合い、セルフタイマーがスタートします。

＊AFロック撮影も可能です（➜25ページ）。

カメラの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピンボケや露光不良になることがあります。

セルフタイマーランプが約7秒間点灯した後点滅に変わり、約3秒後にシャッターが切れます。
連続撮影を選択した場合には、3秒〜6秒間隔で選択した回数の撮影が行われます。

- スタートしたセルフタイマーモードを解除したいときは、((•◐ボタンを押してください。
- セルフタイマーモードは、撮影後または電源が切れると自動的に解除されます。

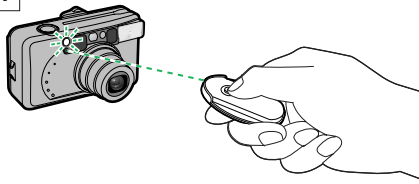
リモートコントロール撮影

矢印の方向にリモコンをスライドさせて、リモコンホルダーから外します。

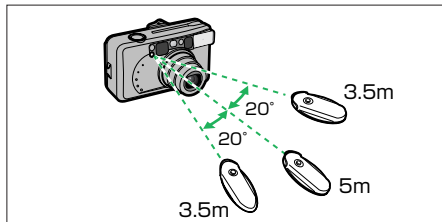
＊リモコンをリモコンホルダーに戻すときは、反対方向にスライドさせ、カチッと音がするまで押し込んでください。
＊リモコンはイラストとタイプが異なる場合があります。

ボタンを押して、“ ”を表示します。

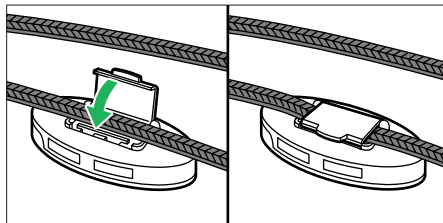
＊リモコンモードは、セルフタイマーモードの後に表示されます。
＊リモコンモードでは、撮影モードも選択可能です。

3

AFフレームを被写体に合わせて、構図を決めます。

4

❶リモコンをカメラのリモコン受信部に向けて、シャッター作動ボタンを押します。
❷リモコンランプが点滅し、約2秒後にシャッターが切れます。

リモコンモードは撮影後も解除されません。電源が切れると自動的に解除されます。

リモコン操作が可能な範囲は、カメラ正面で約5m以内、上下左右各20°で約3.5m以内です。

＊リモコン撮影時は、三脚の使用をおすすめします。
＊逆光撮影時にカメラのリモコン受信部に直射日光が入っていると、リモコン撮影ができない場合があります。そのようなときは、セルフタイマーを使用してください。

カメラのストラップにリモコンホルダーを取り付けておくと便利です。

＊コインを使うとリモコンホルダーを簡単に開けられます。
＊電池の寿命は約3年です（当社試験条件による）。リモコン撮影ができなくなったら、ご購入店または富士フイルムサービスステーションにお申し出ください。有償にて電池交換いたします。

このようなときは

操作中このようなときは…

このようなときは	ここをチェック	こうしてください	参照ページ
シャッターが切れない。	①“ ”が点滅していませんか。 ②電源は入った状態にセットされていますか。 ③“ ”が点滅していませんか。 ④“E”が表示されていませんか。	①新しい電池に交換してください。 ②POWERボタンを操作して、撮影可能な状態にセットしてください。 ③フラッシュ充電中です。“ ”が点滅から点灯に変わるまでお待ちください（フラッシュ充電時間は約6秒）。 ④フィルムを取り出して、未使用のフィルムを装てんしてください。	13ページ 13ページ 22ページ 17ページ
フィルムを入れて裏ぶたを閉めたが、フィルムカウンターが表示されない。	●フィルムの先端を**FILM TIP**マークまで引き出して正しく装てんしましたか。	●フィルムの先端を**FILM TIP**マークまで引き出して、正しく装てんし直してください。	17ページ
途中でフィルムが巻き戻されてしまった。	●フィルムが入っているときに裏ぶた開放つまみを動かしませんでしたか。	●フィルムが入っているときには、裏ぶた開放つまみを動かさないようにご注意ください。またフィルムを取り出すときには、必ずモーターが止まり“E”が表示されたことを確認してから裏ぶたを開けてください。	27、29ページ

このようなときは

このようなときは	ここをチェック	こうしてください	参照ページ
フィルムを入れて裏ぶたを閉めたが、フィルムカウンターの数字が点滅している。	●撮影途中のフィルムを巻き戻しせずに取り出しませんでしたか。	●フィルムを取り出してから電池を取り出し、POWERボタンを押してフィルムカウンターの表示が消えたことを確認します。その後、再度電池を入れてください。	27ページ
セルフタイマーがセットできない。	●デート修正モードになっていませんか。	●デート修正モードを解除してください。	14ページ
“⏲”が点滅し、シャッターが切れない。	●カメラの故障です。	●弊社サービスステーションにお問い合わせください。	

プリントがこのようなときは…

このようなときは	ここをチェック	こうしてください	参照ページ
画面がぼんやりしている。	①AF窓をかくして撮影しませんでしたか。 ②被写体のねらい方は適切でしたか。 ③レンズが汚れていませんか。 ④カメラのブレではありませんか。 ⑤近距離撮影時に▲モードで撮影していませんか。	①AF窓をかくさないようにカメラを正しく構えてください。 ②AFフレームでねらって撮影またはAFロック撮影してください。 ③レンズをきれいにしてください。 ④カメラをしっかり構え、シャッターボタンを静かに押してください。スローシャッター時は三脚を使用してください。 ⑤▲モード以外で撮影してください。	20ページ 25ページ 45ページ 20ページ 30ページ
画面が暗い。	①暗いところでのフラッシュ撮影で、被写体が遠すぎませんでしたか。 ②フラッシュ撮影時にフラッシュ発光部に指が掛かっていませんでしたか。 ③窓際などの逆光撮影ではありませんでしたか。	①規定のフラッシュ撮影範囲内で撮影してください。 ②フラッシュ発光部に指を掛けないでください。 ③ϟモードにセットして撮影してください。	31ページ 20ページ 33ページ

このようなときは

このようなときは	ここをチェック	こうしてください	参照ページ
デートが合っていない。	●電池を入れたとき、もしくは電池交換時に修正しましたか。	●電池を入れたとき、もしくは電池を交換したときは、デートを修正してください。	14ページ
デートが写し込まれていない／はっきり写らない。	①デートモードを“------”にして撮影しませんでしたか。 ②デートの写る位置に、白・黄・だいだい色などの明るいものがありませんか。	①“------”以外のデートモードを選択して撮影してください。 ②デートの写る位置に、なるべく明るいものがこないようにしてください。	16ページ 16ページ

取扱上のお願い

1. カメラは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。
   ①海辺や小雨の中などで使用するときは、水が掛からないようにご注意ください。また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
   ②カメラケースに入っていても、落としたり、固いものにぶつけると故障の原因になります。また、振動が加わるところ（自動車のトランクなど）に放置しないでください。
2. このカメラはマイクロコンピューターによって制御されているため、ごくまれにカメラが誤作動する場合があります。このようなときは、電池をいったん取り出し、再度入れ直してください。
3. 長時間お使いにならないときは、高温・多湿・有害ガス（タンスの中のナフタリン、しょうのう他）・ホコリなどの影響の少ない、風通しの良いところに保管してください。
4. 閉めきった自動車の中などに長時間放置しないでください。
5. 飛行機をご利用の際、未現像のフィルムやフィルムの入ったカメラは機内持ち込みされることをおすすめします。預け入れ荷物に入れた場合、X線検査でカブリなどの影響が出る場合があります。
6. レンズ、AF窓、ファインダーなどが汚れたら、ブロアーブラシでホコリを払い、柔らかい布で軽くふきとってください。それでも取れないときは、富士フイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて、軽くふいてください。アルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。
7. フィルム室にホコリがあると、フィルムを傷つけることがあります。ブロアーブラシで払って清掃してください。
8. フィルムの装てん・取り出しは、直射日光を避けて行ってください。
9. このカメラの使用温度範囲は－10℃～＋40℃です。
10. 寒冷地では電池の性能が低下しますので、衣服の内側に入れるなどして、温めてからご使用ください。なお一時的に性能の低下した電池は、常温に戻れば性能が回復します。

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。ご購入店または富士フイルムサービスステーションに直接お申し出ください。それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証、使い方などのご不明な点につきましても、裏面記載の弊社カメラ事業部営業部かお近くの富士フイルム営業所や富士フイルムサービスステーションをご利用ください。

● 無料修理

故障した製品についてはご購入年月、販売店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。

＊詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

● 有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、下記のような場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。

1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月、販売店名が記入されていない場合、または記載事項が訂正された場合。
3. 富士フイルムサービスステーション以外で分解、修理されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取扱上の不注意(使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、カメラ内部への水・砂・泥の入り込みなど)、保管上の不備(高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管)、お手入れの不備(かび発生など)により生じた故障。
6. 前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

● 修理不能

浸(冠)水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

● 修理部品の保有期間

この製品の補修用部品は、製造打ち切り後5年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。
なお、部品保有期間終了後でも修理できる場合もありますので、詳しくはご購入店かお近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

● 修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や富士フイルムサービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理料金が高く見込まれる修理のときは「○○○○円以上は連絡してほしい」と金額をご指定ください。ご指定のないときは6,000円以内の料金で修理完了する場合は修理をすすめさせていただきます。
5. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
6. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
7. 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので、普通修理品の場合は富士フイルムサービスステーションで、お預かりしてから通常7～10日位をご予定ください。

● 海外旅行中の故障

海外旅行中に故障した場合は、海外各地の富士フイルム海外支店または富士フイルム代理店をご利用ください。富士フイルム海外支店、代理店の所在地一覧表はお近くの富士フイルムサービスステーションにおたずねください。なお、海外での修理は対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

主な仕様

使用フィルム	135（35mm）ロールフィルム（DXマーク付き）
画面サイズ	24mm×36mm
レンズ	フジノンレンズ　5群5枚構成　f=38mm～115mm　1：6.3～1：12.7
ファインダー	実像式ズームファインダー　0.41倍～1.10倍　AFフレーム　近距離補正マーク　AFランプ
距離調節	アクティブオートフォーカス　0.9m～∞　AFロック付き 遠景モード（レンズ遠距離セット、フラッシュ発光停止） AFランプ（点灯：撮影距離OK、点滅：撮影範囲外警告）
シャッター	プログラム式電子シャッター（1/2秒～1/500秒）
露光調節	自動調節 連動範囲（ISO 100）広角（38mm時）　：EV11.1（*6.6）～16.0 望遠（115mm時）：EV14.1（*8.6）～17.0（＊はフラッシュ発光停止時）
フィルム感度	自動設定（DX方式による）　ISO 50～3200
フィルム装てん	オートローディング方式
フィルム給送	電動式　プレワインディング方式　自動巻き上げ　自動巻き戻し　途中巻き戻し可能（途中巻き戻しボタンによる）

フ ラ ッ シ ュ	低輝度自動発光ズームフラッシュ　充電時間：約6秒 低輝度自動発光モード／赤目軽減モード／強制発光モード／発光停止モード／ 夜景ポートレート（スローシンクロ）モード 赤目軽減モードの方式：LEDプレ照射
セルフタイマー	電子式　3コマ連写可能　作動時間：約10秒　途中解除可能　セルフタイマーランプ付き
液 晶 表 示	フィルムカウンター（逆算式）　撮影モード　セルフタイマーモード　リモコンモード　デート 電池容量　フラッシュ充電中
電　　源	リチウム電池 CR123A　1本
そ の 他	デート機能　三脚ねじ穴付き　リモコン対応
大きさ・重さ	116.0mm×64.0mm×43.0mm（突起部除く）　190g（電池別）

＊仕様・性能は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

富士写真光機株式会社

●お買い上げ製品についてのお問い合わせは…

富士写真光機株式会社　カメラ事業部 営業部　〒331-9624 埼玉県さいたま市北区植竹町1丁目324番地　TEL（048）668-2236

※ただし平成15年3月31日までは埼玉県さいたま市植竹町1丁目324番地

●光機製品のお問い合わせはこちらでも承ります

富士フイルム札幌営業所内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL（011）218-5575
富士フイルム仙台営業所内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL（022）216-6960
富士フイルム東京販売部内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒106-8620 東京都港区西麻布2-26-30	TEL（03）3406-2387
富士フイルム名古屋営業所内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル	TEL（052）203-5262
富士フイルム大阪支社内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-5-11	TEL（06）6205-6421
富士フイルム広島営業所内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL（082）250-0755
富士フイルム福岡営業所内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-0255

●お買い上げ製品の修理の受付は…

札　幌：富士フイルムサービスステーション	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL（011）222-3973
仙　台：富士フイルムサービスステーション	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL（022）265-2149
東　京：富士フイルムサービスステーション	〒105-0022 東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル	TEL（03）3436-1315
富士フォトサロン・東京	〒104-0061 東京都中央区銀座5-1 銀座ファイブ	TEL（03）3571-9411
名古屋：富士フイルムサービスステーション	〒460-0008 名古屋市中区栄1-12-19	TEL（052）202-1851
大　阪：富士フイルムサービスステーション	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル	TEL（06）6260-0915
富士フォトサロン・大阪	〒530-0001 大阪市北区梅田1-9-20 大阪マルビル	TEL（06）6346-0222
広　島：富士フイルムサービスステーション	〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL（082）256-3511
福　岡：富士フイルムサービスステーション	〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-4863

※土曜、日曜、祝日、年末年始は休業させていただきます。その他夏期等休業させていただく場合があります。
●東京、名古屋、大阪：富士フイルムサービスステーションは、通常の土曜日（祝日、年末年始、夏期休暇以外）は営業しております。
ただし、受け渡し業務のみとなります。
●富士フォトサロン・東京、大阪は受け渡し業務のみです。

●富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日〜金曜日　午前9：30〜午後5：00）TEL（03）3406-2981
富士フイルム ホームページ　http://www.fujifilm.co.jp/

Printed in Indonesia

FGS-204112-Ci-02